

1月園だより

令和5年1月

段原みみょう保育園

あけまして、おめでとうございます

コロナ禍で迎える新年も3回目となり、対策をしながらの生活も日常化しています。久しぶりに遠くのおじいちゃん、おばあちゃんに会われ、初詣に行かれたりなど、楽しいお休みとなったのではないのでしょうか。

あそびと生活の中で培ってきた力



今月は、園で一番大きいクラスであるすみれ組の子どもたちの輝いている姿、そしてその輝きが小さな子たちの憧れになっていることとお話したいと思います。

先月、4・5歳児の生活発表会がありました。発表会前の取り組みでは、みんなで話を積み重ね、セリフを考えたり、遊戯の動きのアイデアを出しあったりしながら準備をしていきました。当日は、緊張の中でちょっぴり動きや役割、セリフを忘れてしまっても隣にいる人が、フォローし、助け合っている姿がとても印象的でした。年長すみれ組では、前々日に一人の女の子が「発表会、みんなで成功させよう！がんばろう！コロナにかからないように。」と願いながら、自分が出演する劇のメンバーのために折り紙で手裏剣のお守りを作り始めました。そこに協力する仲間が加わり、劇のメンバーだけではなくクラス全員分、そして、ひまわり組分も…と、どんどん広がっていきました。当日すみれ組は、手裏剣のカラフルなお守りをみんながつけて登場。クラスが一丸となって、はりきる姿に感動がいっぱいの発表会となりました。発表会が終わっても、その手裏剣にリボンをつけて可愛らしくアレンジして髪につけるおしゃれの達人もいて、発表会までの取り組みや当日に感じた達成感や満足感等の余韻を楽しんでいました。

今月14日(土)、年少ぼたん組のお楽しみ会(発表会ごっこ)を行います。らいおん組の頃から、大きなお兄さんお姉さんがダンスをする姿に憧れ、見よう見まねで楽しんでいる子どもたち。お部屋に行ってみると、先生に「すみれ組さんのお遊戯の曲をかけて。」とリクエストする子どもたちが何人もいて、既に動きもマスターしています。好き、そして楽しいからこそ、集中力が上がり、上達するスピードも増すんだな～と実感させられます。年中・年長児の発表会のDVDも見て、イメージを膨らませ、やる気に満ちているぼたん組さんです。

すみれ組さんの感動エピソードはたくさんあるのですが、もう一つだけ…。夕方、0・1歳児は5階のあそびの広場に行くことが度たびあるのですが、そこに隣のお部屋のすみれ組も一緒に遊ぶことがあります。その際、すみれ組さんは小さい子たちの足を踏んではいけないと、上靴を脱ぎ、小さな子が喜ぶような声かけをしたり、いっぱい褒めてあげたり、またあそびを考えたりなどしています。その後、0・1歳児が4階の乳児室にエレベーターで帰る際には、階段で4階に先回りして出迎え、お部屋まで手を繋いで連れて行ってあげるほどの面倒見のよさ。すみれ組さんは、相手のことをよく考え、思いやりの心が育っているなあ、そしてこんな素敵な姿に触れながら、小さな子どもたちも心が豊かに育っていくんだなあと感じさせられます。あと3か月後には卒園するすみれ組さん、日々のあそびや生活の中で、もっともっと人としての心の土台を広く強く築いていってくれるものと思います。

先月の雪が降った日、大喜びで屋上やデッキに行き、しばらくは寒さ、冷たさも感じず、大はしゃぎで遊んだ子どもたち。そんな中、「ねえねえ、マスク外したら白い煙が出るんよ。先生も外してみて。」と教えてくれる子がいました。子どもたちの発見って本当におもしろいな～。今年も、発見となるほど～と納得できる瞬間がたくさんあればいいなと思います。そして、そんな発見や納得できたことを保護者の皆さんにもどんどんお伝えしていきます。

本年もよろしくお願いいたします。

園長